

Ⅲ 普及活動

1 ネットワーク美術館展

画家が愛した人・ひと・ヒト展～画家は、人間のどこに、何に、魅せられたのだろうか～

会 期／平成20年11月21日(金)～12月14日(日)
月曜日休館(11月24日は開館)
会 場／三良坂平和美術館(三次市三良坂町三良坂2825)
主 催／三良坂平和美術館、広島県立美術館
共 催／三次市教育委員会、三良坂平和美術館友の会
後 援／中国新聞社、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、
テレビ新広島、広島エフエム放送、
三次ケーブルビジョン

入 館 料／一般300円、高校生150円

※中学生以下及び65歳以上、並びに身体障害者手帳・療育手帳・
精神障害者保健福祉手帳保持者及びその介助者は無料

入館者数／508人(うち小中生以下168人)(22日間)



学校と美術館および地域の連携を深め、鑑賞教育の普及と定着をはかるため、「美術作品鑑賞教室」(p.41参照)と関連付け、平成20年度は三次市と共同して開催した。

本展では、当館所蔵作品の中から、「働くヒト、座るヒト、たたずむヒト」という三良坂平和美術館の企画キーワードをもとに、様々な視点で描かれた人物をテーマにした絵画作品を集めて紹介した。子どもたちには、切り取るとカードサイズにもなるクイズ形式のガイドブックを配布し、主体的に、楽しく鑑賞できるよう配慮した。親近感のもてるテーマや、広島県ゆかりの作家を中心とした日本画、油彩画等を交えたバラエティ豊かな構成が好評を得たようである。(本展担当者：石川 哲子)

関連事業

(1) 団体学習鑑賞会(p.41参照)

- 11月28日(金) 三次市立灰塚小学校 5・6年生 9人
- 11月28日(金) 三次市立仁賀小学校 5・6年生 9人
- 12月4日(木) 三次市立三良坂中学校 1年生30人、
2年生32人、3年生45人

(2) ギャラリートーク

- 一般来館者を対象とする当館学芸員による作品解説会
- 11月23日(日) 14:00～ 35人



主要関連記事

- 11月30日 中国新聞
- 12月9日 読売新聞

その他

- 子どもガイドブックの作成・配布(A4版 600部)

